

2月3日（土）初電車より

下井草駅の新駅舎およびバリアフリー設備の使用開始

新たに北口を新設し、南北を結ぶ自由通路をご利用いただけるほか、エレベーターなどのバリアフリー設備を備えた“人にやさしい駅”になります。

西武鉄道（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）では、下井草駅（東京都杉並区）の橋上駅舎化工事および南北を結ぶ自由通路、バリアフリー設備の設置工事が完成し、2月3日（土）初電車より使用を開始いたします。

下井草駅は、平成16年より「駅・まち一体改善事業」として国庫補助を受け、杉並区と協力して工事を進めてまいりました。

これにより、新たに北口を開設し、初電車から終電車の間、南北を結ぶ自由通路がご利用いただけるようになり、駅周辺にお住まいの方の踏切待ちが解消されます。

また同時に、エレベーター、エスカレーターなどのバリアフリー設備のほか、お客さまご案内用オープンカウンターやホーム待合室の設置、上下ホームの全てに屋根を設置する工事が完成し、“人にやさしい駅”となり、車いすをご利用のお客さまやご高齢のお客さまにも便利にご利用いただけるようになります。

西武鉄道では、「人にやさしい鉄道」を目指し、駅のバリューアップに今後とも努力してまいります。



下井草駅完成イメージ図

< 下井草駅について >

所在地	東京都杉並区下井草 2 - 4 4 - 1 0
乗降人員	2 3 , 0 5 4 人 (平成 1 7 年度 1 日平均)
主なバリアフリー設備	エレベーター ... 4 基 (南口、北口、上り・下りホームに各 1 基)
	エスカレーター ... 6 基 (上りホームに 2 基、下りホームに 2 基 南口 1 基、北口 1 基)
	お客さまご案内用オープンカウンター ... 1 ヵ所 (改札口)
	ホーム待合室 ... 1 ヵ所 (上りホーム)
	旅客・多機能トイレ...1 ヶ所 (コンコース)
その他	上下ホームの全てに屋根を設置

「駅・まち一体改善事業」とは

交通結節点を中心とした都市の再生やバリアフリー化をさらに推進するため、道路・都市事業と鉄道事業を同時採択し、連携して駅と周辺のまちの効率的な整備を目的としています。国庫補助を受けて下井草駅は杉並区と協力し、橋上駅舎化や自由通路の整備、エレベーター・エスカレーターなどのバリアフリー設備の設置を行っています。